令和2年11月6日　北海道新聞　朝刊／17面（地域）
本学名誉教授　篠崎恒夫氏　掲載

小樽再生フォーラム 本年度の助成団体に

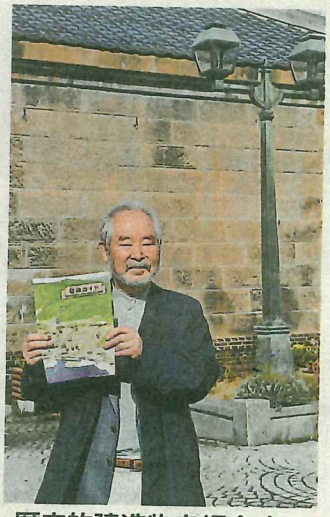
大同生命厚生事業団

小樽の景観保護などに取り組む市民団体「小樽再生フォーラム」（篠崎恒夫代表）が、大同生命厚生事業団（大阪）の本年度の助成団体に選ばれ、10万円の助成金が贈られた。

会員の8割が60歳以上の団体を対象とするシニアボランティア活動の部で、全国123件の応募の中から、道内では同団体を含めた5団体が選ばれた。

同団体は1985年設立で現在、50～80代の約20人が所属している。

2006年には市内の歴史的建造物を紹介した「歴建ガイド」を制作。小中学生対象に08年から行う歴建の写生コンテストや、色内地区の景観を保つために毎年行っている草取りなどが評価された。篠崎代表（84）は「小樽の歴史的建造物の価値を再認識し、市民に誇りをもってもらうための活動を継続したい」と話している。（日野夏美）



歴史的建造物を紹介するガイドを手にする市民団体「小樽再生フォーラム」の篠崎恒夫代表